

住みごこち一番・可児 ― 若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちの創造

## 秋は人をつくるとき



季節はづれのタンポポの綿毛を見つけました。

希望の風に乗って

あかし  
勇気のカと友情の証で

役割を果たし続けよう!

- ・タンポポの綿毛は、自分たちの繁栄を祈り、勇気を持って風に任せて飛んでいきます。
- ・着地し芽を出し、根を深く張り育ち、また助け合いながら花を咲かせ、種を付け役割を果たし続けます。秋は、人を育てます。

### 【教育長より】 道徳教育について



可児市教育長 筈橋義朗

昨年度から小学校、今年度は中学校で「道徳」が学校の教科として正式に始まりました。これまででは長い間「特別の教科」として行われていましたが、評価を伴う教科として始まりました。なぜ今なのか、以前には想像もできなかったような非人間的な事件が顕在化してきたからなのでしょう。いろいろな要素は考えられますが、私は社会の劣化を憂える空気が充満してきた現れだと思えます。それまで無意識のうち子どもを取り巻く社会や家庭が行ってきた「しつけ」や当たり前のことを教える力が最近弱くなってきた結果で、学校でもそのことを教えなければならなくなったのではないのでしょうか。最近よく言われる非認知能力です。自尊感情、意欲、忍耐力、コミュニケーション能力、回復力、創造力、協調性、知的好奇心などのことです。子ども自身と他者との関係が快適になり、子ども自身も健やかに成長できる大事な能力が弱くなったと考えます。家庭での教育もお願いしたいと思えます。

点数評価はしないことになっています。ただ子どもたちがどれだけ考えようとしたか、様々な考え方があることを知ったかが、この教科の評価です。唯一の正解はありません。

道徳教育は、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として、他者と共によりよく生きることができると子どもを育てようとしています。

今後とも、貴センターでの道徳等の人権教育推進および可児市内小中学校への支援をよろしくお願ひします。

**主な 後期活動計画 やります！**

**子どもの人権講演会**

**入場無料**

**12月6日(金)**  
13:00~15:00

**開催場所**  
**福祉センター**  
TEL 62-5329



三羽佐和子

講師プロフィール

- ・岐阜市立加納幼稚園長で退職
- ・東海学院大学短期大学部教授
- ・法務省人権擁護委員
- ・ぎふ☆森のようちえん保育者

**テーマ** **子どものサイン わかりますか？**

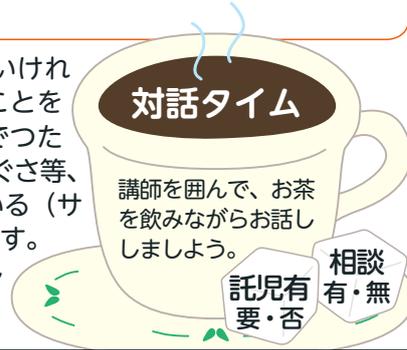
**内容** 子育て支援の重要性  
(いくつかの事例をもとにした具体的な話)

**対話タイム** 講師を囲んでお茶を飲みながらお話ししましょう。

**悩み相談** 個人的に先生にお話しできます。  
(申込み時にご相談ください)

**子育て中の方、お孫さんを見ている祖父母の方、一緒に学びましょう！**

大人は気づかないことが多いけれど、子どもは一生懸命様々なことを訴えています。つたない言葉でつたえられないときには、表情・しぐさ等、子どもなりに考えて表現している(サインを出す)ことが多いのです。それを感じ、分かるにはどうしたらよいのでしょうか。



**参加者募集**  
**40名**

**申込期間**  
**11月15日(金)まで**

**申し込み(問合せ)**  
**本センター**  
TEL/FAX 63-7990

専用申込フォーム



問合せ ● 可児市人権啓発センター TEL/FAX (0574) 63-7990 E-mail : jinken.nukumori@gmail.com

**11/12 子ども・ぬくもり教室**  
**11/28 (小学校巡回)**

土田小：11/12 (火)  
広見小：11/28 (木)



**11/17 街頭啓発**  
**久々利地区センターまつり**

**12/4 ~ 12/10 人権週間啓発活動**

人権旗掲揚：市役所・総合会館正面玄関前  
庁舎側面たれ幕

**3/1 機関紙「ぬくもり」72号発行**  
(市内全戸配布)

**人権マンガまつり** ご自由にご覧ください。9時~16時

**11/19~11/21 人権子どもマンガ展**  
(駅前マーノ・2Fにて)

**11/25~12/10 総合人権マンガ展**  
(福祉センター)



**11/29~12/15 人権合同展**  
(標語・300字小説入選作品 他)

・人づくり課、図書館新刊本等展示



**12/11~12/19 市役所人権マンガ展**  
(市役所ロビーにて)

**主な 前期活動実績 やりました！**

**5/10~** 小学校「人権本巡回制度」本年度スタート  
(愛称:ブックス・フロー)

- ・選考本 65冊 (勇気・友情・希望等)
- ・道徳 4コマまんが、しおり付

**5/16 人権教育推進委員会**  
(各小中学校人権代表者会議)

講話と学校行事支援等を実施・依頼

**7/1 機関紙「ぬくもり」70号発行**  
(市内全戸配布)

**7/8~9/6 「標語・300字小説」募集**

**【結果】** 令和元年度応募数 3,698 作品  
**【内訳】** 標語 3,019 作品・300字小説 679 作品

本年度は過去最高の応募となりました。ありがとうございました。

**8/8 第3回「人権教育勉強会」開催**

**【内容】** 人権の源泉と同和問題の淵源について



**10/20 「街頭啓発」(健康フェア等)**

**【対話数】** 1,800 名



# 特集

## ぬくもり「SDGs」(エスディー・ジーズ)の取り組みについて

SDGs = (国連で採択された持続可能な開発目標)

スローガン(SDGs) = 誰ひとり取り残さない(公平性のアプローチ)

～すべての人のための目標達成を目指し、もっとも弱い立場の人々に焦点をあてる～

### 1 SDGs とは

- ①今、世界で一番話題になっている、国連の「持続可能で、世界のあらゆる問題を解決するために目指す目標」= 2030年までの15年間で完遂をめざす。
- ②2015年9月に世界の193ヶ国が採択した17の国際開発目標。
- ③169のターゲット・232の指標があり、かつてないほどの明確な指標が決められている。
- ④全世界の国・県・市・企業・NPO・国民等、其々が広く認知し活動する事。
- ⑤既に2000年に採択された「国連ミレニアム開発目標=MDGs」は、2015年に終了。この時、採択されたのは、「人権・環境・平和」の主要3項目を目標とすることとし、推進された。
- ⑥その後の国連での開発目標としてSDGsが採択された。
- ⑦こうした目標に対して少しでも豊かさのある国民は、更にそれを向上させ、又艱難の国民への支援の力を何によって出来るかを考え、実施していく為の運動なのです。

### 2 SDGs の考え方(5つのPについて)

- ①人間 (People) = すべての人の人権を尊重する。
- ②地球 (Planet) = 責任ある企業生産と国民消費の均衡・気候変動(温暖化防止等)の対応・天然資源の持続可能な管理・海洋プラの激減管理等を緊急対応する。
- ③豊かさ (Prosperity) = 自然と調和する経済・社会の技術の進展を確保する。
- ④平和 (Peace) = 平和、公正で恐怖と暴力のない、すべての人が参加できる世界をめざす。
- ⑤パートナーシップ (Partnership) = 国・企業・国民等多様な関係者が広く参加する関係の実現をめざす。

### 3 開発目標 17 と特徴



～SDGsのロゴ(ヤーコブ・トロールベック氏・構図作成)～

- 特徴**
- 普遍性 = 全ての国が行動する
  - 包摂性 = 誰ひとり取り残さない
  - 参画型 = 全ての利害関係者が役割を持つ
  - 統合性 = 社会・経済・環境に統合的に取り組む
  - 透明性 = 定期的にフォローアップ

★本センター活動の焦点(目標) = 人権的な4・10・16を骨子とした「人権文化」としての事業展開をしています。

### 4 本センターのMDGs～SDGsでの「主な人権取り組み」経緯

①経緯 = MDGs (～2015) の対応とSDGs (2016～) の対応 = (特に4・10・16を重点)

年次	取り組み	対応
2000年～(H12)	「人権文化」事業スタート ・人権標語(小中学校他) ・人権講演会(一般)	MDGs 対応事業
2008年(H20)	・(いじめ防止)標語・300字小説募集スタート	//
2009年(H21)	・キャラクターデビュー・4コマ自作漫画(道徳・倫理・礼節)発刊スタート ・「新ホームページ」発信 ・「人権本巡回制度」スタート	//
2011年(H23)	・「ぬくもり物語」等自作漫画発刊スタート	//
2012年(H24)	・「ぬくもり教室」スタート ・「人権漫画使用許可制」スタート	//
2014年(H26)	・「いじめ防止勉強会」市長・教育長へ提言書提出	//
2016年(H28)	・「人権漫画展」スタート ・「道徳勉強会」市長・教育長へ提言書提出 ・「人権なあに～」道徳副読本の自著刊行(本センター創立25周年記念)	SDGs 対応事業
2020年(R01)	・ホームページ改定(受信2倍作戦)スタート ・「人権教育勉強会」スタート	//

### 5 主張

- ①世界を横からでなく、宇宙から眺めたら見えなかったことが見えるようになりました。SDGsは、そのような形で見えてきた世界の問題点を、如何に徹底し・行動して解決するかを考えました。ゆえに「誰ひとり取り残さず」をスローガンにしています。
- ②全世界の国・企業・法人・NPO・国民等含んだ国連目標が立てられています。(廃プラ等も)
- ③本センターでは、今回の国連目標の前のMDGsの時から、人権活動の推進の柱としており、多角的な推進をしてきました。SDGsにおいても引き続き特に将来を見据えて、子供の人権を主な事業として、更に各人権要素を計画的に取り入れて推進していきます。

### コメント

- ①人は、生まれる国を選ぶことができません。
- ②人は、どうしても自分だけでは解決できないことが、人生でたくさん出てくるものです。
- ③一寸助けてもらおうと人生は、再び輝かしていけることもできます。
- ④努力したが、なかなか難しい環境にある場合、抜け出せず永く苦しむ国・人も出てきます。
- ⑤本センターの活動の中心は、未来ある子供への人権教育です。人権漫画など、多角的な展開をして、SDGsへの一助となるよう更に推進していきます。 文責(K・Y)

